

December 2000



リニア彗星：20世紀最後の肉眼彗星と騒がれ、多くの人々が期待した彗星ですが、予想に反して肉眼では見えませんでした。それどころか太陽に接近した7月26日を境に急激に暗くなり、ついには望遠鏡でも見えなくなってしまいました。原因は彗星本体が太陽の熱で崩壊してしまったためです。地球に近づいたころは双眼鏡でも尾を引く姿が見えました。(写真は7月19日撮影)



10月31日現在の「星の登録者」は5,155人です。

今年の夏は全体的には晴天に恵まれませんでした。6月は良かったのですが7月下旬から半月雨の日が多く、9月以降も悪天候の日々が続きました。

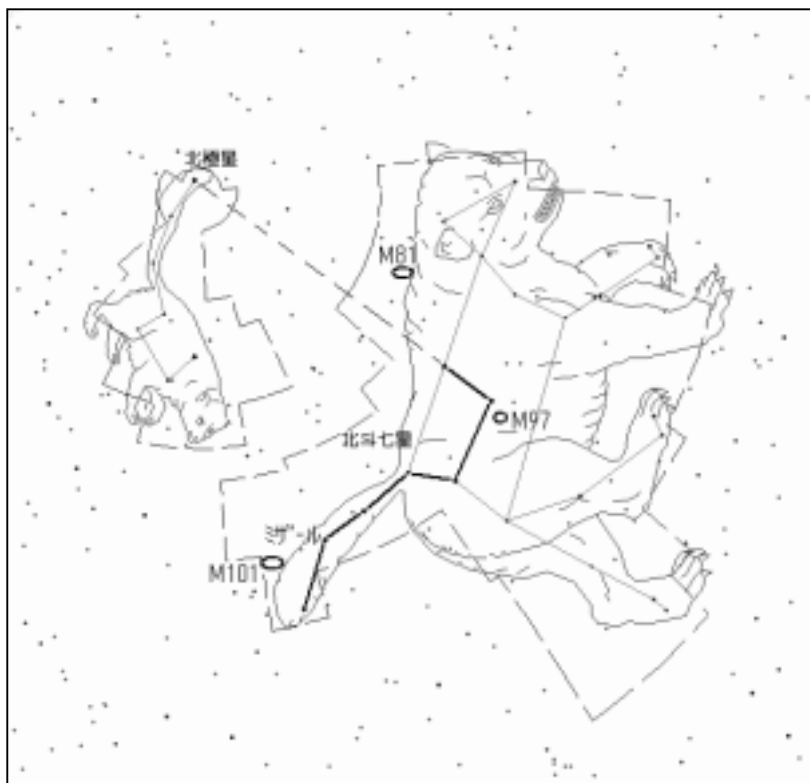
綺羅星・星座図鑑

おおぐま座 (Ursa Major)

こぐま座 (Ursa Minor)

大熊座には北斗七星、小熊座には北極星があり、夜空では密接な関係にある星座ですが、ギリシャ神話でも親子の熊という関係があり、大熊はニンフ（森や泉の精）カリスト、小熊はその子アルカスの姿とされています。

月と狩りの女神アルテミスは、夜になるとニンフを従え鹿や熊の狩りをしていました。そのニンフの中にアルカディア王リカオンの娘でカリストという美しい娘がいました。カリストはいつもアルテミスのお伴をしていますが、ある日ゼウスの子を宿してしまいました。それを知ったアルテミスはカリストに呪いをかけ熊の姿に変えてしまいました。そ



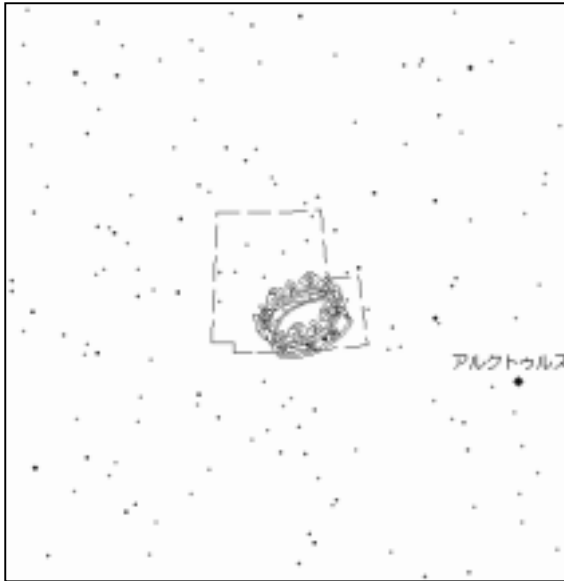
してそれまで連れていた猟犬にまで吠えたてられ、とうとう森の奥に逃げ込んでしまったのです。それから15年後、カリストの子アルカスは立派な狩人に成長し、毎日山奥にわけ入って狩りをしていました。ある日、一頭の大きな熊に出会ったのです。この熊こそカリストの変わり果てた姿でした。カリストはこの若い狩人が我が子アルカスと知ると、懐かしさのあまり我が身を忘れて走り寄りました。そんなこととは知らないアルカスは弓を引きその熊を射ようとしてしました。そんな様子を見ていた大神ゼウスはアルカスを熊の姿に変え、つむじ風をおくって親子共々天に巻き上げ星座にしました。大熊と小熊のしっぽが長いのは、ゼウスがしっぽをつかんで天に放り上げたため伸びたのだといわれています。

大熊座は北斗七星が有名で、夜空では北極星を探すための印として知られていますが、北斗七星は熊の腰から尾の部分にあたり、星座全体は全天で3番目に大きいのです。北斗七星の尾の先から二つのミザールという星は、すぐ近くにアルコルという星がくっついていて、昔アラビアでは兵隊の視力検査に使われたと言います。大熊座から乙女座にかけて大変多くの銀河（渦巻き星雲）がありますので、望遠鏡で確かめてみて下さい。

小熊座は尾の先が北極星になっています。北極星はゆっくり移動していて、現在はたまたま小熊座のポラリスという星が北極星ですが、8000年後には琴座のベガ、12000年後には白鳥座のデネブが北極星になります。これは歳差運動（さいさうんどう）といって、地球の地軸がゆっくり移動しているために起こるもので、1周するのに約26000年かかります。

かんむり座(Corona Borealis)

北斗七星から少し東側に輪を描くように並ぶ星の集まりがあります。これはプトレマイオスがギリシャ神話を元に作った星座で、王冠を形取った冠座ですが、オーストラリアの原住民はブーメランの姿を想像して



いたようです。

クレタ島の王子ミノスは、王アステリオスの後継ぎとして王になろうとして人々の大反対を受けたとき、「私は神々から祝福された人間であるから、私のいうことなら神々はなんでも聞いてくれる」といいました。そして、海の神ポセイドンに牡牛を一びき送ってくれるように祈り、もし牛がクレタ島にきたらすぐ神々にささげると約束しました。

これを聞いたポセイドンがほんとうに牡牛を送ってしてくれたので、ミノスは「ごらんのとおりだ」と大いばりで王位につきました。けれどもその牡牛があまりに立派なので急に惜しくなり、別のつまらない牛を祭壇にささげたの

です。

これをみて怒った神々は牡牛の性質を凶暴なものにかえると、こんどはミノスの后パーシバエがこの牡牛に恋をするようにしむけました。その結果、后はミノタウロスという頭が牛で身体が人間というとてもない怪物を生んでしまったのです。ミノタウロスは性質が凶暴なうえに平気で人を殺すので、弱り果てたミノス王は、名建築家として名高いダイダロスに、一度入ったら二度と出ることができないという地下の迷宮をつくらせ、ミノタウロスを迷宮の奥深くとじこめてしまいました。そのころ、ミノス王のもう一人の息子アンドロゲオスが、アテナイでなぶり殺されるという事件が起こりました。怒った王はアテナイを征服し、降伏の条件として9年に一度ずつ7人の少年と少女を船で送らせ、それを牛魔ミノタウロスに食わせることにしたのです。これにはアテネの人々も困りはて、アテネの王子テーセウスは、とうとうミノタウロス退治を決心してその中にくわわり、クレタ島に渡りました。そして、ミノス王に牛魔退治の許しを願いでると、すぐ承知してくれましたが、武器を持ってゆくことは許されず、さすがのテーセウスもこれには困ってしまいました。そんな時、テーセウスにひと目惚れしていた王女アリアドネが、テーセウスを迷宮の入り口で剣と糸まきを渡しました。

そして王女は外で糸まきをもち、テーセウスも糸まきのはしを持って迷宮の奥深く入り込みました。やがて牛魔の恐ろしい声とともにミノタウロスが姿をあらわしました。牛魔はテーセウスを見るなり、いきなりとびかかってきましたが、王子はすかさず名剣でその胸をつらぬきました。しばらくテーセウスと戦いましたが、とうとう力ついてその場へ倒れ息絶えてしまいました。

迷宮の入口に再びあらわれたテーセウスは、王女に感謝をのべてから妻になってほしいと申し出て、急いで少年少女を救いだすとともに船に乗り、アテネへ向け出帆しました。

船は風を待つためにナキソスの島にたち寄って、一同は岩の上にキャンプを張りました。その夜、テーセウスの夢の中に守り神アテナ女神があらわれ『アリアドネを妻にすると禍いがおこる。彼女を島に残し急いで船出せよ』と告げました。テーセウスはしかたなく、王女が眠っている間に一同を起こし、そのまま島を離れて行ってしまいました。

夜が明けて目をさましたアリアドネは、ただ一人おきざりにされたことを知ると悲しみのあまり岩から海

へ身を投げようとしてしました。ちょうどそこへやってきたのは酒の神ディオニュソスの一行です。ディオニュソスはヒョウの引く二輪車にのり、うしろには森の神サチュロスやニンフたちが踊ったり歌ったりしながらつづいています。この若い酒の神は、アリアドネから事の次第を聞くと、アリアドネをなぐさめ、自分の花嫁に迎えることにして七つの宝石でかざった冠を贈りました。

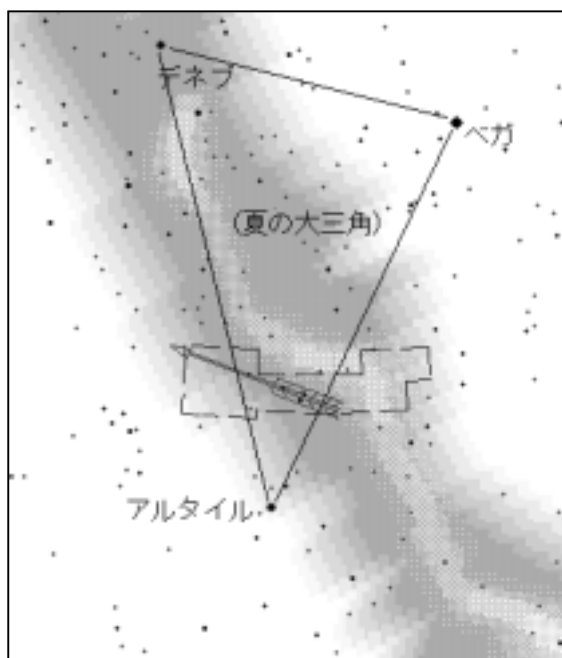
アリアドネはその後幸福な日々をおくりましたが、後にアリアドネが死ぬと、ディオニュソスはその玉の冠を空へ投げあげました。すると、それがかんむり座の星となって美しく輝きはじめたということです。

星座は円を描くような形をしていて、その中にR星という変光星があります。ふだんは6等星として見えていますが、前触れもなく15等星くらいまで暗くなると言う不思議な星です。

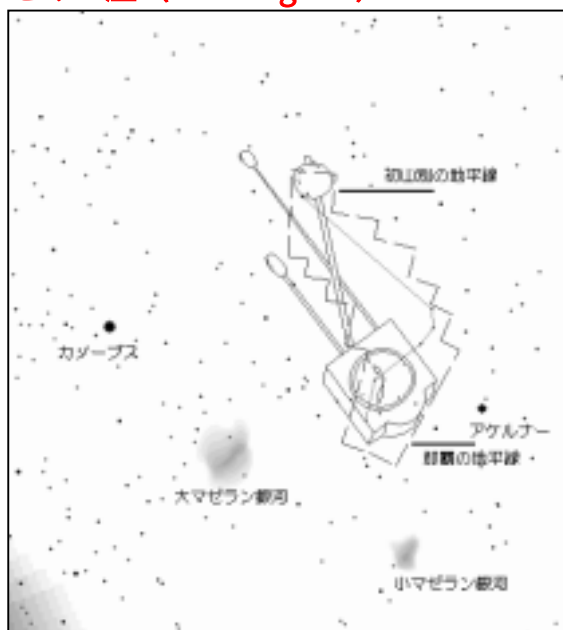
や座 (Sagitta)

わし座と白鳥座の間に小さく一列に並ぶ星が見えます。これが星座？と言いたくなるような小さな星座です。小さいながらギリシャ神話にまつわる由緒のある星座で、愛の神エロスの持つ矢が星座になったと言われています。

エロス（一般にはキューピッドとして知られる）は軍神アーレスと愛の女神アフロデーテの子で、背中には翼があり、いつも弓と矢を携えていました。エロスは黄金の矢と鉛の矢を持っていて、黄金の矢で射られると人間はもちろん大神ゼウスでさえ恋心に落ち、鉛の矢で射られるとどんな恋でもたちどころに冷めてしまう力を持っていました。エロスはこの矢でオリンポスの神々をさんざん悩ませたといわれています。



とけい座 (Horologium)



エリダヌス座（オリオン座の西）の南にある星座で、初山別からは北端のごく一部が見えるだけの星座ですが、日本の最南端（波照間島）ではほぼ全体が見えます。

とけい座は18世紀にラカイユが制定した星座で、星座絵を見ると大きな柱時計（振り子時計）が描かれています。18世紀ころ作られた星座にはその時代に発明、発展した道具の名前が星座に付けられたものが多く、明るい星も少ないため、星の並びからそのものの形を連想するのが難しいです。一番明るい星でも3.8等星。あとはそれ以下の星ばかりで、星座の面積は割合大きいのですが、実際の空から振り子時計の姿を見つけだすのは難しいと言えます。とけい座の西にエリダヌス座のアケルナーという0.6等星があるので目印として覚えておくといいでしょう。

綺羅星列伝

皆様からお寄せいただいた星物語の一部をご紹介します。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : MEIRA

MEIRA というのはファービの名前。

私が 12 才の夏休みに「買って！買って！お願い！ほしいの！」と父にたのんで買ってもらいました。

どんな時も笑って私を楽しませたくれたり、なぐさめてくれたり、はげましてくれる友達、親友と言える存在でした。家族にも、とてもかわいがられて、楽しい日々をおくっていたある日。目を開けたまま止まってしまいました。電池をかえて

も、リセットしても、再起動しても、何をしてもムリ。

私の心の中がしーん・・・としずまりました。

「トミー」におくって調べてもらっている時に、この「パンフレット」を見つけて、「無事に直ってきますように」と願い出したのですが、今はしずかにねむっています。だから今は「星になって空から私を支えてくれるように」という願いをこめています。

星の名前 : PONTTA KIYOE T

星に名前をつけてくれたのは主人のお父さんです。ここから素敵なお話を書きます。

私と主人は 2000 年 3 月 27 日に結婚しました。札幌にいる主人のご両親に 2 月にごあいさつに行く事になっていて、それはそれはとても緊張していました。私は主人から色々とお父さんの事、亡くなったお母さんの事、そして今のお母さんの事を聞いていました。お父さんはお医者さんで小さい頃はとても忙しく遊んでもらった記憶があまりなく、中学、高校になるとあまり口をきかなかったと言う風に聞いており、どう接してよいのかわからない・・・と、本人もあいさつに行くのが複雑な心境の様でした。彼のお母さんは本人（彼）が 19 才の時に亡くなっていて、もうその頃には自立していたから・・・とか、離れてたから・・・などと言いながら、心の中ではあまりそ

うではないと私にはいつも思っていました。今のお母さんはとてもいい人で、自分も大好きだし親父も良かったよと言っており、会ってみて本当にそう思いました。

さて、実際に緊張の当日、まずはレストランで食事。私が想像していたお父さんとは少し違う印象。お母さんは話の通りとてもいい人でした。レストランではそんなにベラベラ話さなかったお父さん。家に帰りまた食卓で 4 人で話し出した所、彼の子供の時の話、ライブへ行った時の話、転勤でインドへ行った時の話、そして主人は音楽関係の仕事をしているのですが、とても彼をみつめていたと言う様な話・・・ずーっと話してくれました。私はそれだけで胸が熱くなっていたら、席をはずしたすきに言う訳ではないのですが『息子の事どうぞよろしくお願いします』と頭を下げ

る姿に私は涙が出ました。そして高田家のお嫁さんが皆持っている物があるんだよ・・・と言って、お星様のことを初めて知りました。私はなんて素敵なんだろうと思いニックネームの「PONTA」を教えました。

ただ星に名前をつけてもらった・・・と言う風には全く思っていない。お星様と言えば亡くな

ったお母さんもお星様になって私達を見守ってくれるのかな？とも思うし、すごく会いたかった分、私の星とお母さんの星は話ができるかな？とも思うし・・・これをとっておいたぞ・・・と、お母さんの運転免許証をくれました。私にはかたみの指輪を・・・本当にありがとう

星の名前 : **HYUUI1998OCTOBER20**

1998.10.20 AM2:38 私達夫婦に待ちに待った Baby が誕生しました。「やっと会えたな。無事生まれてよかった。がんばってくれてありがとう」そんな気持ちでいっぱいの出産直後でした。

この Baby の前に私達には2人の Baby がいます。1人目はけいりゅう流産で、2人目は子宮外妊娠で失ってしまいましたが…。不妊治療を受けながらの出来事だったので、この世のものとは思えない苦しみで本当につらかったです。今、思い出してもこわい程心の中がさみしかったです。だから Baby が授かった時、うれしく思いましたがそれと同じくらい不安になりました。

「今度こそ大丈夫やろか？ちゃんと守ってやれるやろか？」その不安は的中し、流産をしかけて入院しました。妊娠がわかって1週間後、妊娠5週目のことでした。「がんばって、がんばって、あんたにはお兄ちゃんお姉ちゃんがついているから、ちゃんと守るから生きてください。」何回お願いしたことか。神様も Baby もこれ以上つらい思いをさせたら、この夫婦はダメになってしまう

うと思ったのでしょうか？私の居心地の悪い子宮の中でがんばって成長してくれて助かりました。それから生まれるまで何度と危機があり、まわりの人たちに心配と迷惑を山程かけました。最後まで気の抜けない妊娠でしたが、予定日の2週間前に無事生まれてきました。

名前は 坂本 飛優行(サカモト ヒュウイ)

今まで私たち夫婦にいろいろあった時、まわりの人達がすぐ飛んで来てくれて、そんな優しさにふれたので次はこの Baby が、この子を必要とする人のそばにすぐ飛んで行ける優しさを持つようにと名付けました。

星を送ったのは Baby の初めてのイベント、クリスマスにプレゼントしました。Baby の星がお兄ちゃんお姉ちゃんと一緒に飛優行をお空から見守ってくれます様にと。

飛優行、あなたの笑顔、あなたといると今までつらかったことがちょっとずつ帳消しになっていきます。私達を両親に選んでくれて本当にありがとう。

星の名前 : **Twinkle Hiroko 24th**

この星は、私の24歳の誕生日を記念して贈られたものです。送り主は「阿部寛子向上委員会」。

私は地元のFM局でDJをしており、その番組を聴いて応援して下さいっているリスナーの方が

連名でこの星をプレゼントしてくれました。

入社 2 年目、こういう職業でなくても不安と焦りを感じる頃。自分に自信が持てない時に届いたこのプレゼントは、「大丈夫だよ、頑張って」と、背中をぽんと押されたような気分になってくれました。

「あべちゃんが“キラン”と輝く D J でいられますように」

とメッセージを添えて下さった「阿部寛子向上委員会」の方々の期待に応えるように、少しずつキラン！と向上していくつもりです。

素敵なプレゼント、ありがとうございました。



こちら情報室

○天文情報

1 月 10 日皆既月蝕

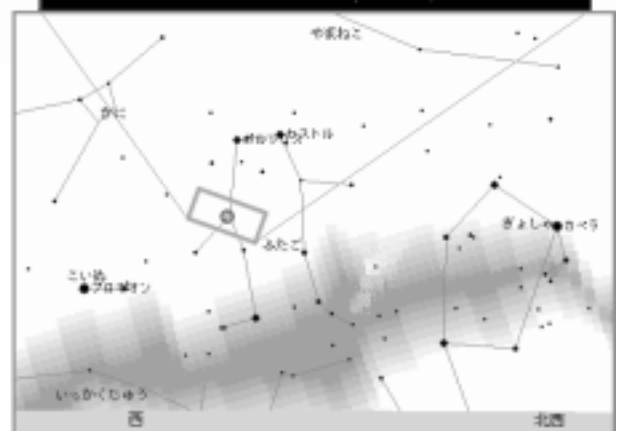
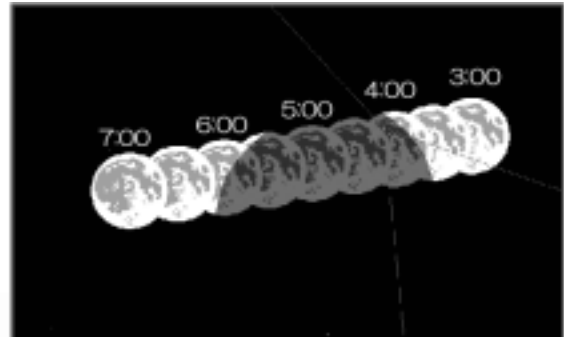
21 世紀に入って最初の大きな天文現象は皆既月蝕です。この月蝕は真冬と言うこともあって日本海側では不利となりますが、晴天率の高い太平洋側では見られる可能性大です。ただ、時間帯が明け方のため早起きする必要があります。

月は西の空にあり 5 時ころ見ると既に月は地球の影に入って赤黒くなっていて、6 時前には上の方から明るくなってきます。

月蝕の始まり	0 3 時 4 2 分
皆既月蝕の始まり	0 4 時 5 0 分
皆既月蝕の最大	0 5 時 2 1 分
皆既月蝕の終わり	0 5 時 5 2 分
月蝕の終わり	0 6 時 5 9 分

今回見逃すと、次に日本で見られる皆既月蝕は 2007 年 8 月 28 日までありません。

この月蝕の最中に双子座のデルタ星（3.5 等）が月に隠される掩蔽(えんぺい)が起こります。出入りの時刻は場所によって変わりますが、初山別では潜入 4 時 1 4 分、出現 4 時 5 8 分で、月の左上から入り右からでできます。



○ほたるの里づくり

平成 7 年度に開館した初山別村自然交流センターは、『ほたる愛らんど』構想の自然と人、人と人が交流しあう場づくりを図り、併せて地域住民の文化の振興と教養の向上、福祉の増進を図るとともに、本施設を核としてほたるが飛び交うような人と自然が調和したまちづくりを目指して建設されました。

現在、教育委員会の社会教育係を中心に自然交流センターの一室でヘイケボタルの幼虫を飼育しており、採卵のための幼虫を除き来年 6 月頃に沢へ放流する予定です。幼虫の飼育には、その餌となるインドヒラマキガイを飼育して増やさなければならず、約千匹の幼虫の餌を確保するのに苦労しています。また、餌とともに気をつけていることは水替えて、飼育日誌をつけながら、幼虫が元気に育つように、教育委員会の職員全員で張り切っているところです。



この計画が成功するかどうかはまだまだ未知数ですが、是非軌道に載せ、子供たちの環境教育や地域住民の憩いの場づくりに生かしていきたいと考えています。

○シネマ情報 -その後-

みなさん、前回の My Stars 通信で、3 月下旬に映画の口ケがありましたとお知らせしましたが、その後その話はパッタリと途絶え、映画会社から何の連絡もありません。あの映画どうなったんでしょうね。クリスマス封切りということなので、無事終了していれば近々アナウンスがあるものと思われます。

「My Stars 通信」で使用している天文図はすべて **StellaNavigator5(ASCII/AstroArtsts)** を使用しています。

[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mail どちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

[編集後記]

20 世紀最期の年はみなさんいかがでした。この号が届くころは 21 世紀まで 1 ヶ月を切っていることでしょう。明るく希望に満ちた(?)新世紀を迎えましょう。

この 2000 年は新年早々 Y2K 問題で世界中が右往左往していました。世界各地で火山活動や地震、豪雨、洪水などの自然災害が多い年でした。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。初山別は火山、地震はなかったものの 7 月以降例年になく雨が多かった。おかげで期待していた 9 月の晴天は連日天候不順で、星空はさっぱり。10 月 11 日には初雪が降り、山では紅葉する間もなくすっかり枯れ葉色になってしまいました。

編集・発行 初山別村教育委員会社会教育係 〒078-4421 北海道苫前郡初山別村字初山別 155-1
インターネットホームページ URL=<http://hokkai.or.jp/shosanbe/> E-Mail shosanbe@hokkai.or.jp